

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成25年10月24日 (2013.10.24)

【公表番号】特表2012-521929(P2012-521929A)

【公表日】平成24年9月20日 (2012.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-038

【出願番号】特願2012-502744(P2012-502744)

【国際特許分類】

B 6 3 B 25/16 (2006.01)

B 6 5 D 90/02 (2006.01)

B 6 5 D 88/10 (2006.01)

【F I】

B 6 3 B 25/16 P

B 6 3 B 25/16 1 0 1 B

B 6 5 D 90/02 B

B 6 5 D 88/10 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月6日 (2013.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

有利には、前記第一隔壁及び前記第二隔壁は台形状の形状を有するとともに、それぞれ船の長手方向に対して平行及び斜めに設けられている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

特定の実施形態においては、前記第一ストレーキ及び前記第二ストレーキは、それぞれ前記長手方向に対して平行及び斜めにのびている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

船首タンク 5 3 は、前方隔壁 5 4 と、船の長手方向に垂直な後方隔壁 5 5 と、を有する。また、船首タンク 5 3 は、底隔壁 5 6 と、天井隔壁 5 7 と、二個の側隔壁 5 8、5 9 と、前方隔壁 5 4 から後方隔壁 5 5 までのびる四個の傾斜隔壁 6 0、6 1、6 2、6 3 と、をさらに有する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

下部において、側隔壁58、59と、傾斜隔壁62、63と、底隔壁56と、は台形状である。隔壁56、58及び59は船の長手方向に平行に設けられている。隔壁62及び63は船の長手方向に対して斜めに設けられている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

隔壁62のストレーキは、前方隔壁54から後方隔壁55まで、船の長手方向に斜めに伸びている。これらのストレーキのうち、いくつかのストレーキ（図示せず）は後方隔壁55までのびている。図4に示されるように、その他のストレーキ64は、前方隔壁54から、隔壁63及び56の交差部により形成されるリッジ65までのびており、該その他のストレーキ64は、該リッジ65において先が切断されたような切断端部を有している。

【手続補正6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持構造と、密封されかつ熱的に絶縁された液化天然ガスを収容する船首タンク（53）と、を有する船において、

前記船首タンクは、前記支持構造に取り付けられた複数のタンク隔壁（54、55、56、57、58、59、60、61、62、63）を有し、

各前記タンク隔壁は、前記船首タンクの内側から外側に向かう厚さ方向に連続的に、第一密封バリアと、第一断熱バリアと、第二密封バリアと、第二断熱バリアと、を有し、

前記複数のタンク隔壁のうち第一隔壁（56）及び第二隔壁（63）は、リッジ（65）において互いに隣接して配置され、

前記第一隔壁（56）及び前記第二隔壁（63）の形状は台形状であり、

前記リッジ（65）が前記船の長手方向に対して斜めにのびるよう、前記第一隔壁（56）及び前記第二隔壁（63）は、それぞれ、前記船の長手方向に対して平行及び斜めに設けられており、

前記第一隔壁の前記第一密封バリアには、前記リッジにおいて支柱を介して前記支持構造に接続された一以上の第一ストレーキ（67）が設けられ、

前記第二隔壁の前記第一密封バリアには、前記リッジにおいて前記支柱を介して前記支持構造に接続された一以上の第二ストレーキ（64）が設けられ、

前記一以上の第一ストレーキ（67）は、前記船の長手方向に対して平行にのびているとともに前記リッジにおいて先が切断されたような切断端部を有し、

前記一以上の第二ストレーキ（64）は、前記船の長手方向に対して斜めにのびているとともに前記リッジにおいて先が切断されたような切断端部を有している
ことを特徴とする船。

【請求項2】

前記支持構造が、前記第一隔壁に平行な第一セクション（81）と前記第二隔壁に平行な第二セクション（82）とを有し、前記支柱が前記第一セクションに取り付けられていることを特徴とする請求項1に記載の船。

【請求項3】

前記支柱が一以上のプレート（７２、７３）を有し、

前記プレートには、前記第一セクションに平行な第一部分（７８、８０）と前記第二セクションに平行な第二部分（７９、８６）とが設けられ、

前記第一ストレーキが前記第一部分において前記支柱に取り付けられ、かつ前記第二ストレーキが前記第二部分において前記支柱に取り付けられていることを特徴とする請求項２に記載の船。

【請求項４】

前記第一ストレーキが、前記支柱に接続されたビームに取り付けられ、

前記支柱には、前記ビームが前記第一隔壁から離れる方向に動くことを防止するためのドロップ縁（８４）が設けられている

ことを特徴とする請求項１～３の何れか一項に記載の船。

【請求項５】

前記船首タンクが、前記複数の隔壁のうち天井隔壁（５７）と該天井隔壁に隣接する二個の傾斜隔壁（６０、６１）とを有し、

前記天井隔壁及び前記二個の傾斜隔壁の形状が長方形であることを特徴とする請求項１～３の何れか一項に記載の船。